

「地域コミュニティ」を考えるシンポジウム
みんなで知って考えよう

地域コミュニティ
「いま」と「未来」

広島市安佐北区長
國重俊彦

I 区役所の役割

市民に最も身近な行政機関であり、市民の暮らしを支える基礎的行政サービスを提供するとともに、市民を主体とする地域づくりを支援する役割を担っている。

II 区役所の目指すべき姿

1 市民の暮らしを支え、市民に信頼される区役所（以下略）

2 市民を支援し、共に地域づくりを推進する区役所

市民が主体となり、まちづくり活動に取り組むことができるようにしていく。また、区の実情や地域の特性に応じた事業を展開し、市民のニーズに対応していく。

III 区役所機能の強化に向けた取組方針

(I) 区政運営のベースとなる機能の充実強化（例：区役所組織の強化、裁量権の拡充）

(II) 窓口サービス提供機能の充実強化（例：窓口環境の改善、提供体制の充実）

(III) 市民のまちづくり活動への支援の強化（例：対話の充実、区の魅活と活力向上推進事業）

※区役所機能の強化に向けて(平成25年3月 広島市作成)

広島市総合計画

(広島市基本構想 / 第6次広島市基本計画(2020年-2030年))



広島市総合計画 (第6次広島市基本計画)



未来につなぐ
国際平和文化都市
ひろしま
の使命

広島市総合計画（第6次広島市基本計画）

広島市の目指す都市像 「国際平和文化都市」

<都市像を具現化するための3つの柱>

世界に輝く平和のまち

第1章 「平和への願い」を世界中にひろげるまちづくり

国際的に開かれた活力あるまち

第2章 活力の創出と都市の個性の確立を目指したまちづくり

第3章 地域特性に応じた個性的な魅力を活かしたまちづくり

区における住民を主体とした
まちづくり活動の充実

文化が息づき豊かな人間性を育むまち

第4章 多様な市民が生き生きと暮らせるまちづくり

地域コミュニティや
多様な市民活動の活性化

第5章 保健・医療・福祉、子どもの育成環境の充実を目指したまちづくり

第6章 安全で安心して生活でき、豊かな自然を将来に引き継ぐまちづくり

広島市総合計画（第6次広島市基本計画）

第3章 地域特性に応じた個性的な魅力を活かしたまちづくり

第2節 区における住民を主体としたまちづくり活動の推進

地域コミュニティの活性化につながる住民主体のまちづくりを推進

- まちの魅力と活力の向上につながる住民の継続的な活動を支援
- 区役所での相談・助言等を通じ、まちづくりに関わる人材育成を推進

第4章 多様な市民が生き生きと暮らせるまちづくり

第3節 地域コミュニティや多様な市民活動の活性化

地域コミュニティの活性化に取り組みます。

- 空き家を活用した活動拠点の確保、ICTを活用した情報受発信の支援
- 次世代の担い手の育成・確保
- 地域の課題に積極的に取り組むコミュニティを支援し好事例を創出

計画の推進
に当たって

市民主体の
まちづくりの
推進

広島市における安佐北区

	広島市	安佐北区
人口 (R3.1.31現在)	119.5万人	14.2万人 (11.9%)
面積 (R2.10.1現在)	906.69km ²	353.33km ² (39.0%)
町内会加入率 (R2.7.1現在)	56.0%	66.7%



広島市総合計画（第6次広島市基本計画）

第3章 第2節 「区における住民を主体としたまちづくり活動の充実」

安佐北区のまちづくりの基本方針

- (1) 都市圏北部の拠点として、活力にあふれるまちづくり
- (2) 支えあいの心を育み、住み続けられるまちづくり
- (3) 自然や歴史、伝統文化など地域資源を生かしたまちづくり
- (4) みどりの恵みが実るまちづくり
- (5) 安全で災害に強いまちづくり



安佐北区まちづくりアクションプラン

安佐北区まちづくり アクションプラン

—10年後の未来に向けて—



地域コミュニティ活性化に当たっての広島市の基本的な考え方

「自分たちのまち自分たちで創る」

まちづくりの主役は地域の皆さんで、行政はサポート役です。

地域でこんなこと
やってるよ！

安佐北区
まちづくり
アクションプラン

こんなこと
やってみたい！

みんなで考えたい！



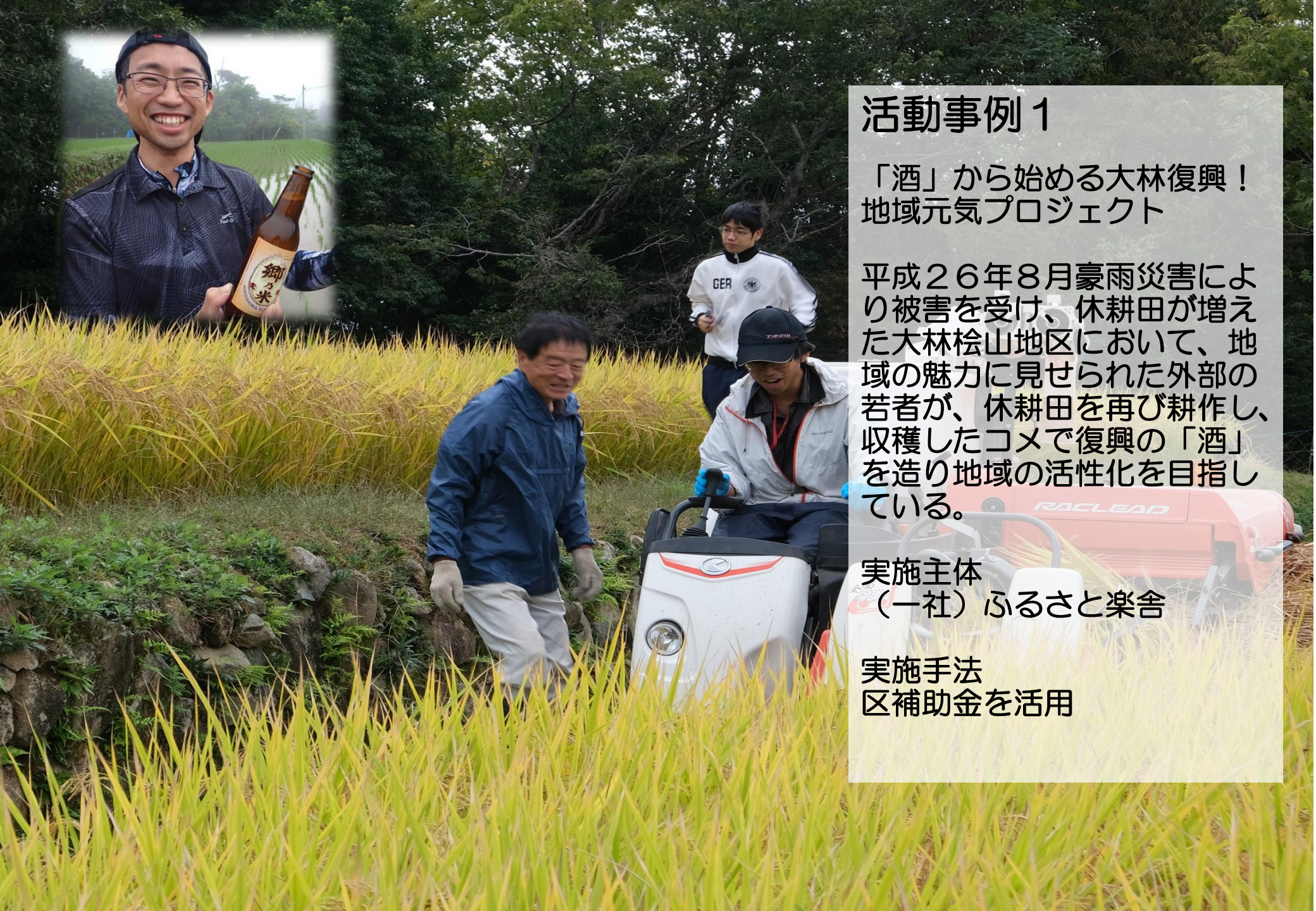
活動事例 1

「酒」から始める大林復興！
地域元気プロジェクト

平成26年8月豪雨災害により被害を受け、休耕田が増えた大林桧山地区において、地域の魅力に見せられた外部の若者が、休耕田を再び耕作し、収穫したコメで復興の「酒」を造り地域の活性化を目指している。

実施主体
(一社) ふるさと楽舎

実施手法
区補助金を活用



活動事例2

「狩留家」なすの6次産業化の推進

1軒の地域の農家がつないできた伝統野菜の白ナスを「狩留家なす」として地域全体で生産し地域特産品として広く売り出し、高齢化が進む地域の連携を深めるとともに、狩留家なすの生産を起爆剤として様々な事業を展開し、地域の活性化を図っている。

実施主体
NPOかるが

実施手法
各種補助金を活用するとともに、クラウドファンディングでも資金調達



活動事例 3

駅舎カフェROMUIの運営

可部線の一部廃止により未利用財産となっていた旧飯室駅の駅舎と敷地を活用し、カフェや地域の野菜の販売などにより、地域の活性化を図っている。

令和2年度、まちづくり功労者国土交通大臣表彰を受賞

実施主体

プラットフォーム安芸飯室運営委員会

実施手法

市未利用財産の管理を自己資金で実施
クラウドファンディング等で資金調達



活動事例 4

古民家町並み保存と活性化

江戸時代の宿場町の佇まいを残す可部旧街道沿線の景観を保存し、かつてのにぎわいや地域の歴史を紹介するイベントを開催し、地域の活性化を図る。

令和2年度、広島市のひろしま街づくりデザイン賞大賞を受賞

実施主体

可部夢街道まちづくりの会

実施手法

区補助金を活用



ご静聴ありがとうございました。